



さいたま市議会議員（2期目）
市民の目線、初心を忘れずに！

佐伯かずみ

NO.69



佐伯かずみは、性別・年齢・障害・国籍に関わらず誰もが参画できる
元気なチームさいたま市を目指します。

避難所が安心して過ごせる体制・環境を考える！

甚大な被害に見舞われた能登半島地震。地域の体育館や公民館などの避難所は、寒さが厳しく断水も続き、衛生状態は悪く感染症がまん延する恐れもあります。間仕切りなどがなく、プライバシーが保てないケースも目立ちます。

1月6日に七尾市の避難所入りした NGO の方は、間仕切りや段ボールベッドの要請をしましたが、届いた数は300人収容者のうちのたった50人分だったそうです。円滑に物資が届けられる仕組みづくりや国での体制づくりも不可欠です。

2020年に内閣府が「防災・復興ガイドライン」を作成し、チェックシートを作りましたが現地では知らない方も多く機能していない状況が見られるとのこと。

高齢者の方、障がい者、妊産婦など要配慮者がすぐに福祉施設に移動できていません。また遠くに移送される方もいるため残る方も。保健師さんが巡回していますが、ストレスを抱えて不安が募っている避難者には、その他にソーシャルワーカー、助産師等の配置も必要です。

防災にジェンダーの視点を！

東日本大震災の被災地などでは、避難所で女性や子どもへの性暴力行為が発生しました。あれから13年も経ち、防災に女性の視点を入れた避難所づくりをといわれていますが、今回も同様の性被害が起こっているのが現状です。下の記事は1月21日付けの東京新聞デジタル版。

トイレは震災関連死にもつながるので重要、男女別トイレが必要。また洗濯物を干す女性専用スペースの確保も。

さいたま市の避難所運営委員会の男性比率は、90%。女性を増やし、運営を決めていくなど、物事を決めるテーブルにもっと多く就くことを望みます。男性リーダーは疲弊されていく方も多いと聞きます。どちらか一方の性で賄うのではなく、みんなでいろいろなニーズを汲みながら考えようという視点が重要です。

TOP | 東京 | 首都圏 | [こちら特報部](#) | 社会

社会

女性に「仕切りなく着替えられない」 男女共用トイレ「夜は行けない」 授乳室や生理用品は…

2024年1月21日 16時00分

女子大でのゲスト講師に行ってきました！

1月24日に跡見学園女子大学で「女性の政治参画」をテーマにゲスト講師をさせていただきました。ワークショップを混ぜながら1時間、その後学生たちと意見交換は非常に興味深く、私にとっても学び多きものとなりました。ありがとうございました。以下学生の感想の一部。



- 性別・年齢にかかわらず多様な視点が世界をよくするために必要だと感じた。
- ただ文句をいうのではなく、声を上げ行動することで叶うことがたくさんあると気付いた。
- 「自分を好きになるコツ」の返答で感銘を受けた。楽しもうという気持ちをもって、自分を嫌わなくて良いんだと感じた。
- 私は市民の意見が反映されることがないと勝手に思っていたが声を伝えていないだけであり意見を積極的に伝えることが大切だと学んだ。政治参画をすすめていきます。

RaiBoc Hall 海外オーケストラ初来場記念特別公演 ハンガリー・ブダペスト交響楽団

日程:6月27日(木) 開演19時

場所:RaiBoc Hall(市民会館おおみや)

S席9,000円 A席8,000円 B席7,000円(全席指定)未就学児不可

2月10日(土)10時よりWEBにて発売(友の会は2月8日より～)



Web QR

【議会 委員会報告】オープン委員会開催 しました！

2月17日(土) 場所:さいたま市立大宮国際中等教育学校

私が委員長をしている文教委員会(教育委員会とスポーツ文化局関連)では、市民の方も傍聴できるオープン委員会を開催。「社会教育が街を変える」をテーマに、埼玉大学安藤先生から社会教育の意義について講義ののち、3グループの高校生たちからの課題解決のための他者との関わりの実践事例の発表、続いて議員や傍聴者の方と意見交換を行いました。課題解決のために皆で知恵を出し合い実際に行動している取組がすばらしかったです。



東京の下町蒲田の商店街で生まれたおせんべい好きのおっちょこちょい。実践女子中・高成蹊大学卒。転勤族で32年前に大宮に引っ越してきました。専業主婦歴25年。二人の息子は芝川小、第二東中卒。趣味のインディアカは大宮に越してきてから始めました。好きが高じて2004年国際審判員取得、早稲田大学スポーツ科学部講師に。防災士。みなさんのお困りごとやモヤモヤすることはこちらの公式LINEへご連絡くださいね。➡

